

みんなの 町議会

広島県
神石高原町

第58号
平成31年4月15日

予算の主な使い道	4
予算をチェック	6
町政のココを聞く	12
こんなことが決まったよ	22
ありゃあどうなったん?	23



笑顔いっぱい!
幸せいっぱい!
入所おめでとう!

最優先

3月定例会

3月定例会は3月5日から3月20日まで開かれました。町長の施政方針の表明があり提出された平成31年度当初予算など64議案を慎重審議し、いずれも原案の通り可決しました。

一般質問では10人の議員が、町政の課題などについてたずねました。

災害復旧対応

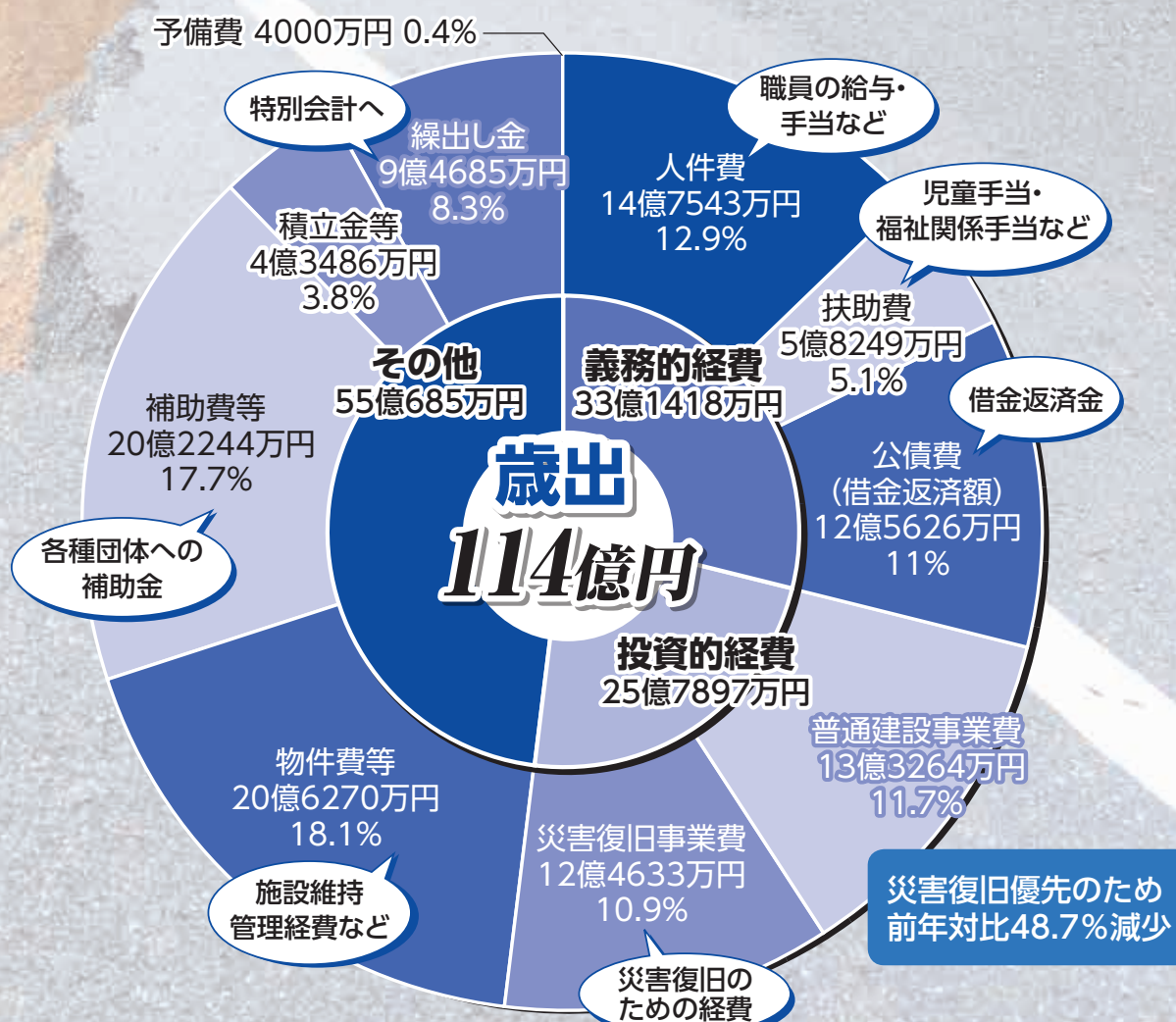
平成31年度災害復旧関連予算 15億3880万円

主なもの

農地及び農業用施設災害補助復旧事業	5億5255万円
道路橋りょう補助災害復旧事業	6億2020万円
林道施設災害補助復旧事業	7000万円

査定件数は全体で523件

平成31年2月までに38件発注済み。今後平成32年度中をめどに逐次発注予定
 その他県道・県河川147件、県営地すべり1件がある



平成31年度 予算

全会計 **155億6164万円**

前年対比 **6.0%減**

災害復旧を

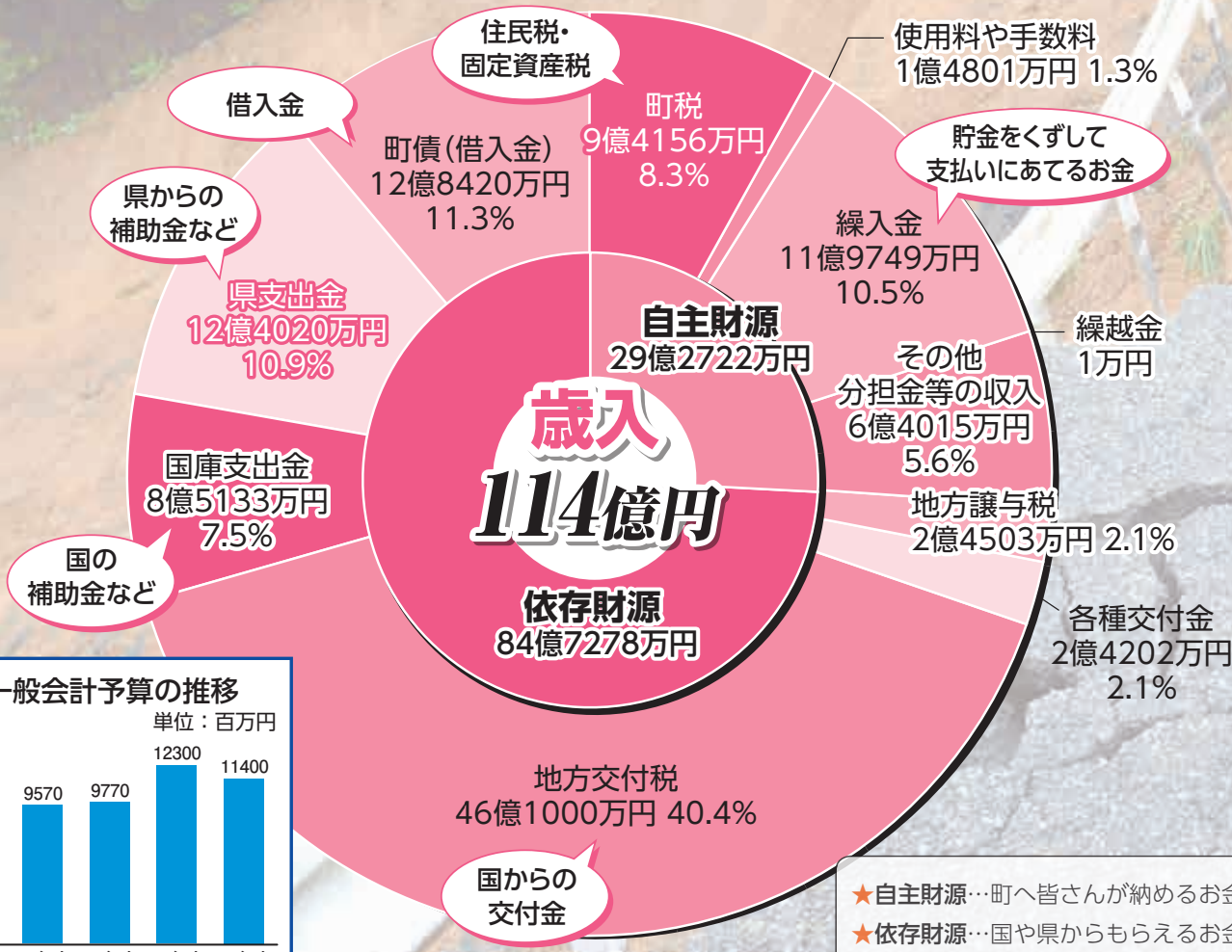
当初予算会計別総括表

単位：万円（四捨五入）

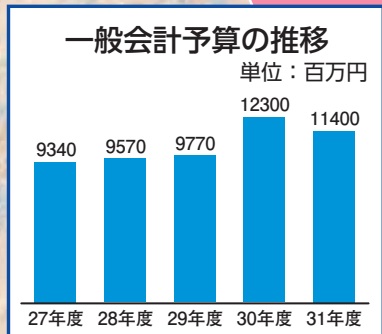
会計名		H31年度	H30年度	前年度比較
		当初予算額	当初予算額	増減額
一般会計		114億0000	123億0000	▲9億0000
特別会計	国民健康保険	9億4980	9億7050	▲2070
	後期高齢者医療	3億7920	3億8540	▲620
	介護保険	18億1440	17億9250	2190
	簡易水道事業	2億3170	2億1250	1920
	飲料水供給施設事業	3930	6240	▲2310
	農業集落排水事業	2億3220	2億3700	▲480
	分収育林事業	10	10	
	総合開発事業	60	1810	▲1750
特別会計計		36億4730	36億7850	▲3120
病院事業会計		5億1434	5億8191	▲6757
合計		155億6164	165億6041	▲9億9877

繰り越し予算

- 15億0024万円
- 大きなもの**
- ・災害復旧関連
3億9973万円
 - ・ふるさと活性化センター
3億0522万円
 - ・くるみ保育所
新築工事
3億0647万円



★自主財源…町へ皆さんが納めるお金
★依存財源…国や県からもらえるお金



「気のせるまちづくり」

生活基盤整備に力を入れた予算の主な使い道

地域おこし協力隊を活用した
企業誘致促進



446万円

新平谷住宅分譲地整備



坪8円

363万円

英語推進ALT 3人へ



1371万円

三和中学校
校舎体育館改修工事



1億3369万円

**めざせ!
人口増!!**

「小さくても元

定住促進・教育環境整備・

災害に対する防災力の向上



エコストーブによる
炊き出し訓練

1197万円

さんわ182ステーション新商品開発



800万円

**子育て世代包括支援センター
「にじいろ」の運営など**



893万円

ふれあいタクシー運賃助成など



7911万円

全会計 155億6164万円

平成31年度
予算審議

使い道は適切なのか!?

激論

注目 予算質疑

予算をチエック

町紹介PR事業の実施 751万円

- ・東京まるごとによぼんのブース内販売
- ・年賀ハガキWチャンスくじ
- ・トラックを利用したPR
- ・月刊タウン情報誌掲載
- ・政策提言イラスト作成

予防接種事業の一部負担

- 高齢者等インフルエンザ予防接種・肺炎球菌ワクチン接種を無料から一部負担へ
- 自己負担
- | | |
|-------------|-------|
| インフルエンザワクチン | 1000円 |
| 肺炎球菌ワクチン | 2000円 |

提案



もっと効果的なPRはないか



独自施策をなぜ見直しか

質疑

まるごとによぼんのブース利用以外は見直す

今まで通り無料

結果

総務課

ふれあいタクシー

木野山議員 財源確保と制度の検証・見直しと対策は。

総務課長 ふれあいタクシーの事業費は年々増大しており、財源は過疎ソ

フト債を充当している。今後は、動向を見極めながら自己負担の増額を含めて検証したい。

防災対策

木野山議員 非常持出袋セットなどへの購入補助は考えられないか。

総務課長 備蓄物は、公助の部分で取り組むのが

基本であり、地域で個々の負担を軽減させる取り組みをして頂きたい。

橋本議員 町と自主防災組織との連携を。

総務課長 毎年研修会を開催しているが、まだ活動に差があるため、体制づくりや訓練など行っていく。

横山議員 災害対策の追加物資購入の内容は。

総務課長 プライバシーを守る為のつい立などを検討している。

林議員 水防体制の強化の装備・施設の追加はないか。

総務課長 大規模排水ポンプの設備を県が持っている。有事の際は県の方へ要請する。



団員の確保が課題の非常備消防

林議員 福祉避難所への案内は。

総務課長 配慮が必要な方は、避難所で案内を行い、町指定の福祉避難所に移動して頂く。

消防団への対応

林議員 勤続30年が退職金の上限である。年数の上限を引き上げることが出来ないか。

総務課長 退職金は町独自の制度ではないため、今後要望していく。

政策企画課

チャレンジファンド

久保田議員 資金回収が不可能な場合、理事会の責任は。保証人が必要では。

政策企画課長 不作為がない限り責任はない。保証人は財団で協議。

町PR事業

木野山議員 多岐にわたる町施策の何をPRし、どのような効果を狙うのか。

政策企画課長 神石高原町を全国に発信し、名前を知って頂く。

横山議員 東京へ向けての町のPR事業は、本当に必要か。具体的な説明を。

政策企画課長 東京浅草の「まるごと」に「ぽん」での販売ブースの使用料、月刊タウン誌の掲載代、年賀はがきWチャンスくじ商品代、トラックのラッピングによる広告代などを計画。

木野山議員 費用の割りに効果が期待されない。自己満足だ。

政策企画課長

「まるごと」は年間400万人訪れる。タウン誌は一回4万弱売れている。高いPR効果があると思う。



スリランカからの農業研修生と受け入れ農家（平成27年）

自治体協力促進

橋本議員 自治体国際協力促進事業の300万円の内容は。

政策企画課長 平成27年度に一回実施している。スリランカから農家を受け入れ2週間程度滞在し、有機農業など研修を行う。

企業誘致

横尾議員 「誘致に対する明確な戦略や独自性の不足」が課題とある。どう克服するのか。

政策企画課長 平成30年度は、企業誘致するにあたって、地元企業の要望などを把握するため60社訪問した。引き続き地元企業と連携のため、訪問をしていく。

産業課

神石牛ブランドは

木野山議員 神石牛ブランド化の計画では、将来神石血統を持つ神石育ち、神石生れに限ることになってきている。そこに向かって動いているのか。

産業課長 神石牛の振興については、まず個体数を増やしていく取り組みだ。以前は町で育った牛は全部神石牛としていたが血統の交配をした牛が半分にまで来ている。効果としてはかなり高いレベルで進んできている。

有害鳥獣駆除

木野山議員 後始末が課題だが、専門家を配置しイノシシ・シカ肉の販売に力を入れたらどうか。

産業課長 イノシシを本町特産品にしていこうという考え方については前向きに取り組みたいと思う。

林議員 有害鳥獣の捕獲数は増加したが農作物の被害は減ったか。

産業課長 イノシシの捕獲頭数は過去3年間毎年一〇〇〇頭を超えているが、被害は減っていない。

都市部への
産品販売

横尾議員 エブリイへの出荷量確保のための生産者支援とあるが、具体的な目標は。

産業課長 町内農産物の売り上げは、120%となった。今後も需要が増すと思われるため、営農指導を充実したい。目標は設定していない。

クラフトビール
開発

横尾議員 開発の委託先が岡山の業者になった理由は。また委託料は。

産業課長 福山の業者は、製造専門なので、総合的な指導ができる岡山の業者に変更した。委託料は476万円だ。

まちづくり推進課

ビジネス
コンテスト

木野山議員 昨年は最優秀賞に該当するプランが無かった。審査過程の公開も周知も無く、事業が段々と尻すぼみになる危険がある。どうするのか。

まちづくり推進課長 審査は実行性が有るかを厳しく見ていく。応募があるように告知はしっかり検討したい。

橋本議員 ビジネスコンテストは、応募が少ないうちでも実施するのか。

まちづくり推進課長 審査員の判断に委ねる。

横山議員 油木地域の西川さんの化石は、かなり価値のある物だと聞いているが、町の方針は。

まちづくり推進課長 交付金を出しており、支所長兼務は考えていない。

久保田議員 協働支援センター長になり手がいない場合、支所長が兼務すべきでは。

協働
支援センター長

まちづくり推進課長 4月から、広島大学大学院卒業生を、地域おこし協力隊として採用する。最長3年間で整理をし、その後、専門家などのご意見を聞き、方向性を決めた。



油木協働支援センター分室 「にしかわ」

環境衛生課

RDF施設の
今後

木野山議員 5年後の可燃ごみ処理方法変更による

り、施設管理が変更となる。早目に検討する必要があるのでは。

環境衛生課長 平成31年度で本町の一般廃棄物処理基本計画の見直し策

定を行い、基本方針を固めたい。

保健課

予防接種事業

小川善久議員 無料だったものを一部町民負担するという提案であるが、住民福祉だけでなく、無料は本町の独自政策だったのではないか。

副町長 接種率が75%となり成果もでてきたので今回提案をした。

行財政改革の中で、補助制度を順次見直しを行

なったが、議会でも多くの議論・意見を伺った。再検討をして会期中に結論を出したい。

赤木議員 個人負担の根拠が他市町に揃えるためと聞こえた。根拠が薄いのでは。

副町長 全体的な流れの中での補助の削減である。今後持続可能なまちづくりのためしっかりとした議論をして方向性を

出していきたい。

横山議員 インフルエ

ンザと肺炎球菌の予防接種の自己負担を求めるのは理解できない。会期中に検討をするといわれたが、それに期待したい。

子育て支援

横尾議員 施政方針の中に「小児科医療の構築と病児預かり制度などについて引き続き検討」とあるが、予算計上がない。

保健課長 平成29年度より検討しているが、具体的な取り組みにはいたっていない。

引き続き検討する。

横山議員 子育て世代

包括支援センター「にじいろ」は、開設後1年が経過した。成果と課題は。

保健課長 多職種の人材

を子育て支援係へ配置する事ができ、幅広い対応や支援ができるようになった。

課題は、まだ「にじいろ」の認知度が低いので

今後も周知に努めていく。

建設課

広域農道復旧

久保田議員 広域農道災害復旧、地すべり災害復旧に地権者、県との交渉に当たる担当職員を配置せよ。

町長 復旧に支障があったとは思わない。担当課と協議したい。

教育課

三和中学校改修

小川善久議員 三和中学校の改修の老朽化の原因は何だったのか。

教育課長 すでに19年経過している。設計段階で軒が短く寒冷地に対応する構造ではなかった。工事の不備はない。

小川善久議員 原因を究明し根本的解決が必要では

教育長 工期・時期も寒冷地を配慮する必要があると感じている。

教育課長 予算の限りもあるが、生徒が危険性を感じるころは、こまめに改修をしていく。

赤木議員 もつとも重要なのは生徒の安全と安心だ。必要ならば補正予算も視野に入れしっかりと調査して頂きたい。

副町長 予算にも入れており十分な対応をしていると考える。



豊松地区笹尾の地すべり災害現場

一般会計討論

反対
1

反対討論

林 憲志 議員

平成30年7月豪雨災害以降、住民から新庁舎は必要ないという声も聞く。新庁舎建設は凍結し、防災や住民福祉を重視すべきだ。

文化財の補修には合併特例債が使用可能であるので崩壊寸前の先祖が築きあげた本町の文化資産を修復すべきだ。執行側は地域の歴史・文化・芸術作品への敬愛心が薄いと考える。

よって、平成31年度当初予算案に反対する。

賛成
10

賛成討論

藤田晃己 議員

予算編成は持続可能な財政運営を行うことを前提としながら、災害復旧を最優先した積極的な予算提案となっている。

また、大型プロジェクトを控え国県支出金の増額や有利な町債の発行など、財源確保に努めている。予算執行にあたっては特に次のことについて十分対応されるよう望む。

- 1、新規事業は早期に提案し目的・効果を明確に示し議会とのコンセンサスを図りたい。
- 2、町紹介・PR事業は、議員各位の意見を尊重しての事業執行を望む。
- 3、チャレンジ基金の運営は、計画などの十分な吟味や保証人の設定なども考慮され厳格な審査を望む。
- 4、予防接種事業は、重要性を認識し弱者の立場に立った施策を望む。

8つの挑戦から芽吹いた芽がしっかり育ち、誰もが住んで良かったまちづくりに取り組まれることを期待し賛成討論とする。

平成31年度 当初予算 議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本 議長
平成31年度 一般会計 当初予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

その他会計は全員が賛成 議長は採決に加わらない

3月補正予算



特別会計を含む

補正予算
総額

▲17億3591万円

補正後
予算現計

175億5750万円

注目補正事業

消防団救助機能向上資機材緊急整備事業
477万円
消防団による効率的な活動を図るため

ふるさと活性化センター管理運営経費
5087万円
道の駅入札不調に伴う見直し

定住促進対策事業
△1327万円
入学祝い金などの実績見込みによる補正

農地及び農業用施設災害補助復旧事業
△5億9299万円 平成30年度未終了分

ブロック塀・冷房設備対応臨時特例事業
△6633万円 設備の見直しによる減額

総務課

消防団装備

林議員 消防団のチェンソーやAED購入は消防団からの要請か。

総務課長 国からの予算があり、消防団幹部に相談した結果、配備する事となった。

横尾議員 消防備品でチェンソーを配備するが維持管理はどうするか。

総務課長 納入業者などによる講習会を開催したい。また、維持管理用の資材の購入も検討する。

住民課

徴税の方法

橋本議員 町民の所得や法人税の増額がある。

滞納もある。徴収の方法は。

住民課長 31年1月末の滞納繰り越し分は31.6%。昨年は18.5%。納税が難しいという場合には、預貯金の調査などを行う。差し押さえも視野に入れ、公平な負担をお願いしている。

産業課

道の駅 リニューアル

久保田議員 ビール工房予定のスペースと精肉スペースはどうするのか。

産業課長 工房は出来なが委託したもの販売は行う。精肉コーナーへ入る業者の予定はないが、スペースは残っている。何かしらで使用するようにしたい。

木野山議員 入札不調で計画を変更しないままの繰越となったのはなぜか。

産業課長 鋼材の不足と単価の上昇により不調となった。農政局と協議した結果、工期と単価を見直し事業を繰越して再入札する。

木野山議員 再入札の単価と工期は大丈夫か。

産業課長 農政局と調整しており工期的には十分だ。万全の体制で臨む。

橋本議員

182ステーションが不落となったが、予想は出来なかったのか。今後最善の努力をお願いしたい。

産業課長 懸念はあったが農政局の指導もあり行わざるを得なかった。**副町長** 必ずやるんだという気持ちで行う。

まちづくり推進課

祝いの金額は

横山議員 小中学校の入学祝い金が減額の理由は。

まちづくり推進課長 事前に人数は把握するが申請をしない場合があったのではないかと考える。

教育課

工事費減額の理由

赤木議員 ブロック塀・冷房設備などの減額はなぜか。

教育課長 精査した結果、高圧受電設備などの設置が不要な学校もあったので減額となった。

町政の「ココ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします
質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式
全文については町議会ホームページをご覧ください。



小川 善久 議員

問 現庁舎と町立病院の移転後の跡地利用計画は



答 平成31年度中には内部協議を始める

町長 ①小島地区全体的の町づくりの直結するので、慎重に検討する。②移転する時点では、利用計画を立てておく必要がある。平成31年度中には内部協議を始める。

問 新庁舎・新病院が次年度から工事着手となるので並行して跡地利用計画について考えていく必要がある。
答 ①跡地計画の方針②計画スケジュール③事業手法はどうするか。

問 ③内部協議で論点整理が出来た段階で、地域や関係機関を交えた協議会を設置し、跡地計画を策定していく。
問 耐震補強をして部分的に建物を残して使う場合もあるか。
答 町長 利用が決まっていけないので、用途により検討する。

問 役場本庁舎周辺の駐車場は、民有地をお借りしているがどうするか。
答 副町長 公的に必要なものなら公的に検討をするが、現段階では、個別に回答できない。仮に企業誘致などに使う場合は、民間同士の契約となる。

問 協議会を設置しても町民の意見が多く入っていないと、民意はならないのではないか。
答 町長 一方的に提案したものをどうか、とはしたくない。出来るだけ地域の方の意見を出してもらえような手法を考える。

農家民泊

問 観光団体による農家民泊、体験学習旅行の誘致の拡大とは。

答 町長 観光協会が運営を行い現在38件の登録がある。体験学習で、都会からくる人たちに感動を与える。受入れ家庭については、各協働支援センターを通じて自治振興会への協力をお願いしている。

問 農家民泊が定住促進の強化となるのか。
答 まちづくり推進課長 即効性はないが、関係人口の増加から口コミで町の良い所を広めて頂くことを期待している。

問 登録数を目標1000世帯にする理由は。
答 まちづくり推進課長 修学旅行生を対象としている。1世帯が3人受け入れるとして、都市部の生徒を対象とするためには必要である。



ドローンで上空から撮影した役場周辺



林 憲志 議員

問 森林環境譲与税を自伐型林業振興に

答 住民の要望を聞く

町長

問 森林環境譲与税を自伐型林業振興にあてるべきだ。

答 町長 間伐や路網整備に加え、森林整備を促進するための人材育成、担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発に使える。

問 自伐型林業の啓発と振興を町として行うべきでは。

答 町長 森林管理の手段の一つとして自伐型林業があると認識はしているが、現段階での啓発は考えていない。

問 自伐型林業は持続可能な林業経営として認識しているか。

答 産業課長 現行林業にもいいところがある。自伐型林業の認識啓発は必要。

問 山主への還元のため自伐型林業を振興し、町として林地の集約化をしてはどうか。

答 産業課長 広島県農林水産業チャレンジプランで林業団地を作る計画がある。自伐型林業の森林施業に繋がると考える。

問 土砂災害防災対策として、自伐型林業の路網整備に1m2000円の補助金を出す考えは。

答 産業課長 自伐型林業の路網技術を研究し、住民に啓発し希望があれば行う。



自伐型林業（じばつがたりんぎょう）による木材の搬出

問 地域おこし協力隊の林業分野の採用はないか。

答 町長 今後必要があれば導入する。

問 海岸漂着物地域対策事業でペットボトル・流木などの除去はできないか。

答 町長 本町のような内陸部の場合、発生源抑制事業として啓発・教育活動などできるが、河川やダム湖の清掃を主眼

とする事業は、補助対象とはされない。

答 まちづくり推進課長 ダム湖の清掃は庄原市・中国電力・県と協議している。

問 本町での撮影報告と今後は。

答 やまなみ劇団や油木高校生などがエキストラで登場し、撮影現場近くの方々に炊き出しをして頂いた。

今後の展開としては、ドラマに登場する料理を観光施設などで提供できるようにすること。物品の販売などを行う。

その他の質問
国民健康保険税引き下げ

神龍湖の流木、ペットボトルなど除去

ドラマ「逃亡料理人ワタナベ」

問 町の存在意義は何か



答 今あるものすべてだ



赤木 俊二 議員

答 町長 「なぜ」この取り組みを進めるのかだが、「この事業に取り組むと町はどうなるのか」という少し視点を変えることが必要だ。良い町にしていくための取り組みは行っているが、「なぜ」その取り組みをやるのか、

問 入江町政3年目の施政方針は「めざせ！人口増」だ。しかし、「なぜ」人口増をしなくてはならないのか、「なぜ」町の存続が必要なのか。その根本的な理由をはっきりと示し、行政職員や議会だけでなく町民と意識を共有する必要があるのでは。

めざすゴールを町民はもとより、議会・町職員と共有することは大変重要だ。
今後、取り組みの目的や進め方など共有していきたい。

問 今回の質問はその内容のもっと根本的なところを問うている。つまり神石高原町をなぜ残さなければならぬか。

田舎への移住希望者に対し「わが町は伝統と文化があり、住みやすい施策に力を入れている。」と伝えたとところで、おそらくは他の地方の市町と同じような内容しか伝えることができない。
神石高原町がないと困るといふ状況があれば、この町と行政はその必要性ゆえに町の差別化が図られ、移住希望者に対する訴求効果は高いと考える。

またこのことは、町民にとっても自分が住んでいる地域の誇りにもな

り、ひいては「住んで良かった」にもつながると考える。
つまり神石高原町の存在意義はどういったものであるかを提示する必要があるのではないか。

答 町長 今私が、答弁できる神石高原町の、存在価値、意義についてだが、それは神石高原町に今あるすべてのものだと思う。一〇〇〇

年以上続いてできた神石高原町の風土、その暮らし、その土地そのものであり、後世に残さなければならぬものだと思う。大きなテーマでいうと、今の神石高原町の風土をベースとした魅力化、地域づくりだ。
今、進めている8つの挑戦も訴求力を持つ発信力のある取り組みと考える。

問 存在意義を対外的に訴求できる町になっていくことを願っている。

答 町長 現在取り組んでいる施策や事業がまちづくりをするうえで何を私に求めているのかを考えながら行政運営を行っていききたい。



「住んで良かった」まちづくりを目指して



横山 素子 議員

道の駅リニューアルの進捗は

答 入札不調で再入札

町長

問 道の駅のリニューアルの進捗状況は。

答 町長 造成工事は完了しているが、改築工事の入札は不調に終わった。要因であった建築部材の高騰による見直しや鉄骨資材の調達期間の確保のため、工期を延長した上、再入札する予定で、平成31年度末の完成を目指したい。

問 住民からの反対の声を多く聞いておられると思うが、なぜ見直しをしないのか。

答 町長 反対の意見は多く聞いているが、

なぜ反対なのかという明確な理由は聞いていない。成功事例もあるし、町の活性化にもつながり、やってみる価値はあると考えている。

問 百彩館の食堂は再開しないのか。

答 町長 油木高校の「なまず食堂」は継続して開催する。食堂は、専任の従業員を配置させる事に見合う利益が出ない事と、売り場と食堂の掛け持ちが困難なため、平成30年10月以降中止している。

厨房の調理設備を活用できるよう、地元の人とサポーターズクラブを作り検討を進めている。

有害鳥獣処理

問 有害鳥獣の捕獲数は年々増えている中、処分方法が課題である。

解体処理施設または焼却処理施設の整備が必要では。

答 町長 猟友会を対象にアンケートをとった結果、解体処理施設が必要な問いに33%の会員が必要と回答。また、焼却施設があれば持ち込みは可能かという問いに、46%の会員が可能との回答があった。

この事を受け、2018年度の国が実施したモデル事業の結果に注視し、焼却処理方法についても検討をしていく。

パスクリエイト(株)との連携協定は

問 2月26日に町とパスクリエイト(株)との間で「不妊・妊娠の支援に係る連携・協力に関する協定」が結ばれた。本町に何が期待できるのか。

答 町長 妊活サプリメントの無償提供や相互連携により、不妊についての正しい知識や情報発信を行う。

一人でも多くの方の早期治療につながる事がメリットだ。

問 サプリメントは、体に合うかどうかかわか

らないし、健康被害が出る可能性もある。調査をしているのか。

答 保健課長 これは男性向けの栄養補助サプリメントで、不妊治療を専門にしている医療機関でも使用しており、町としては安全と認識している。



百彩館で開催されたマルシェ

問 行財政計画の将来見通しは

町長

答 再建が可能な範囲で推移



横尾 正文 議員

問 今年度の一般会計予算は114億円である。災害復旧関連予算や病院建設など多額の財政支出となっているが、行財政計画の将来見通しは。

答 町長 今後の予算規模は、病院建設が完了する平成33年までは、100億を超える予算編成の見込み。それ以降は、投資的経費の抑制を図り、95億円程度を見込んでいく。

歳入では、普通交付税の合併算定替えが今年度で終了し、これまでの加算処置がなくなる。また人口減少の影響を受け、

41億円程度を見込んでいく。また、財政状況は一時的に悪化し、経常収支比率は、90%後半に上昇するが、平成36年度をピークに減少に転じ、十分再建が可能な範囲で推移すると考えている。

職員の資質向上

問 この一年間、職員の不祥事に対して処分が行われてきたが、その後どのような指導や対応を行ってきたのか。また新規採用の方針は。

答 町長 今年の2月までの一年間、2件の懲戒処分を行う事案があった。

こういった事案がある。と、まじめに勤務している職員も含めて町民の皆様から信頼を失うことになる。綱紀粛正を促し、

公務員としての自覚と責任を持つよう周知徹底を図っている。新規採用については、新規学卒者の採用を行うとともに、昨年初めて実施した30代の社会人採用試験を引き続き行い、優秀な人材の確保に努める。

油木高校への進学

問 油木高校へは、存続と魅力化のため町からの補助金がかかり出ているが、地元中学校からの進学者が減少している原因は。また来年度に向けてどんな対策をするのか。

答 教育長 今年度の志願者の地元率は、例年と同等で54%である。地元からの志願者数の減少は、卒業生の減少によるものである。

また、志願者をふやすためには、油木高校として、教育内容が充実できるような取り組みの支援を検討する必要がある。

10連休の対応

問 ゴールデンウィーク10連休の対応は。

答 町長 町立病院は、4月30日と5月2日の2日間を閉院。保育所は、4月30日から5月2日の3日間、いずみ・油木保育所で一時預かりを行う。

児童保育は4月30日と5月2日に実施する。いずれにしても、住民生活に支障がないように努める。



油木高校卒業式



橋本 輝久 議員

問 平成31年度の最重要事業は

答 災害復旧を最優先に取り組む

町長

問 平成31年度の最重要事業は。

また検証や見直しは。

答 町長 昨年発生した7月豪雨災害の復旧、復興に最優先に取り組む。

また、持続可能な神石高原町づくりのために、定住促進、教育環境整備、生活基盤整備、さらには子育て支援などに積極的に取り組む。

災害復旧事業の費用負担もあり、新規事業は控え、継続事業を成果あるものにしていく年と位置づけている。

見直しを行った主なハード事業は、町単独工事・町道改良工事・第2定

住団地敷地造成工事・高蓋地区水道管布設替工事などである。

ソフト事業では、持続可能なまちづくりに向け、各種団体、個人に対する補助金の見直しをしている。

財政運営

問 財政運営の基本的な考えは。

答 町長 事業実施にあつては、財政推計を行うことを基本とし、財政に与える影響を見極め実施の可否を判断する。

指定管理・民間委託を積極的に実施し、行政組織のスリム化を進める。各種補助事業の見直しを行い、経費の抑制に努める。

職員の育成・管理

問 効果的な業務遂行実現に向けた職員の育成・管理は。

また、組織と統制の在り方について、どう考えているのか。

答 町長 各種事業実施にあたって町長を中心とした調整会議を開催し、事業目的や進め方、課題や進捗状況などの情報共有や協議を丁寧に行うよう進めている。

各課が連携し、それぞれの役割を確実に遂行するとともに、各職員が職務に応じた役割を確実に行うよう徹底し取り組んでいる。

ふるさと住民票

問 住民登録していない人でもまちづくりに参加

加して、町外から関わりをもち、定住につなげていくため「ふるさと住民票」の創設を。

答 町長 議員提案の、「ふるさと住民票」の創設はその底流にある考え方に、大いに賛成する。

平成31年度から「関係人口」から一歩進んだ「縁」を強めていく取り組みを始める。関心を持ち交流し、議論を交わし提言する、そして定住へとつなげていきたい。



イベントを通し深まる「縁」(ゆかり)で、定住促進につなげる取り組み

問 油木高校の魅力化は



久保田 龍泉 議員

答 神ゼミなどで対応

答 まちづくり推進課長
神ゼミでの対応で、授業内容までアドバイスはしていない。

問 県立油木高校の学校運営、教育内容について町はどのような考えを持ち、どこまで反映できるのか。

答 町長 連携型中高一貫教育、魅力化プロジェクトで支援しており、カリキュラム的に押し付けることはできない。

問 慶応大学院生の活動内容は。授業内容をアドバイスしているのか。

問 ドローンアカデミーが設立されたが、ドローンの操縦検定や農林水産省の農業散布などの講習を受けさせたらどうか。

答 町長 操縦できるようになることが先決で、今後検討する。

問 ナマズ養殖に取り組み10年近くになる。話題づくりにはいいが、町として6次産業化にどう取り組むのか。

答 町長 ふ化しても稚魚が共食いなどで、あまり成魚にならない。もう少し研究が必要とのことである。

ゴミ袋の見直しを

問 価格が近隣自治体に比べ高く、再度見直しを求める。議会広報誌のまちの声にも見直し

を、との声があるが考えは。

答 町長 袋の大きさ、価格は当面現行どおりでお願いしたい。しかし町内には公的扶助世帯、子育て世帯など配慮すべき世帯もあり、検討する必要がある。

産直市場はどうする

問 クラフトビルは製造を公募したが、応募者がなく、結局岡山の業者に試作品の製造を委託した。地産地消の意味では道の駅で製造販売することに価値があり、業者に委託しては何の意味もない。予算消化のために委託したのか。

答 町長 製造委託先は道の駅と協議する。

原材料は町内産の農産物を使用し、魅力ある商品としたい。

問 冬場は野菜不足になる。九州の産品を入れるよう道の駅同士で協力しては。

答 産業課長 以前そういう話があったが、町内産に限ってやっていく。

問 百彩館は道の駅と統合し店長が交代した。同時に食堂を廃止し

たが、食堂への人の出入りがあることにより、売りの商品を買うこともある。廃止の理由と今後の方針は。

答 町長 高校のなまず、食堂は開催しており、休憩所として開放している。食堂に専任の従業員を配置すると利益が出ない。売り場と食堂の掛け持ちも困難であるため中止した。今ある、厨房の調理設備を新商品の開発などに活用したい。



様々な分野での活用が期待されるドローン



木野山 孝志 議員

問 農林・商工業の振興は

答 各事業でしっかり取り組む

町長

問 超高付加価値農業の推進、競争力の高い農業実現のための「J-INプレミアム」認定制度活用の成果と今後の取り組みは。

答 町長 赤キウイ・ブルーベリー・ジャム・神石牛・神石高原最中を認定した。

いずれも関東圏など外への販売ルートが広がり、中には供給が追いつかない製品もある。今後は、認定商品を拡大し、商工会とも連携しその販売促進をサポートしたい。

問 農産物の「6次産業化」への取り組みの成果と今後の戦略は。

答 町長 民間企業や第3セクターで取り組んでいる。拡大の余地があり、J-INプレミアムの付加価値を付け販路・利益の拡大を図りたい。

問 地産地消の取り組みも重要と思うが。

答 町長 給食用の米は100%地元産であり、副食も積極的に百貨館や道の駅から仕入れている。今後も、安心・安全な地元農産物の「地産地消」を推進したい。

問 地産地消の地元割合は米の100%を含んで30%程度だ。今年度は数値目標を定め割合を高めるべきでは。

答 まちづくり推進課長 4月の頭には数値目標を定め計画を推進したい。

問 商工業者の育成強化対策についての考えは。

答 町長 商工業者への事業としては、商工会運営補助、店舗改修補助、固定資産税補助、融資利子補給補助を予算化している。「事業継承」関連の国の事業など可能なものは、町商工会と連携し取り組みたい。

問 地域創造チャレンジ基金は。事業成果と今後の見通しは。

答 町長 設立から3年目を迎え、12件3億円弱の応募があり、4200万円の資金的支援を行った。需要はまだあり、これからも一歩踏み出そうとする者を支援したい。

問 英語教育の充実などカリキュラムの変更

答 町長 英語教育の充実などカリキュラムの変更は、各学校では、地域や学校などの実態に応じて教育課程上に適切に位置付け、道徳や総合的な学習の時間などで町の道徳教育指導資料など活用し学習している。

問 資本回収のリスクは。

答 政策企画課長 保証人は財団の内部で検討いただく。

問 回収が確実な資金提供に努めるべきだ。

答 町長 審査の段階では選定された事業が選ばれていると思っ

郷土の歴史、伝統文化への理解の取り組みは

問 英語教育の充実などカリキュラムの変更

答 教育長 将来、社会で活躍する人材の育成を図るため、我が国の郷土の伝統や文化について理解を深め、そのよさを継承・発展させるための教育を充実させることが必要だ。

各学校では、地域や学校などの実態に応じて教育課程上に適切に位置付け、道徳や総合的な学習の時間などで町の道徳教育指導資料など活用し学習している。



伝統文化の継承 (相渡八幡宮 秋の例大祭)

問 チャレンジ基金の貸付リスクは



藤田 晃己 議員



答 慎重に審査

8つの挑戦の 検証と課題

問 8つの挑戦の成果の検証と課題は。

答 町長 庁舎・病院については災害対応などの為、工期を1年余り延長したが、庁舎は平成33年8月開庁、病院は平成34年5月開院を目指している。

問 神石高原地域創造チャレンジ基金に於いて無利子・無担保・無保証での貸付はリスクが大きいのでは。

答 町長 リスク回避のため慎重に審査している。

問 万一の時、理事は保証するのか。

答 副町長 保証は出来ない。保証人については財団内部で検討する。

問 懸賞付年賀ハガキの発行は意義がないのでは。

答 総務課長 今後検討していく。

答 政策企画課長 町内・町外のPRに大いに役立っていると思う。

問 人口減少の大きな原因は、未婚化・晩婚化ではないかと思うが有効な対策はないか。

答 町長 行政として有効な手段は難しいと考える。

問 性教育・倫理教育をおろそかにした結果ではないか。

答 教育長 道徳であるとか、特別活動あるいは総合的な学習の時間などを活用しながら行っていく。

問 昨年の町内の出生数35人。10年前63人、急激な人口減少が続くが町内小学校5校、中学校2校体制は維持出来るか。

答 町長 教育環境の整備を図り現体制の維持に努める。

問 家庭・学校でのスマートフォン使用は教育委員会としてどう対応しているか。

答 教育長 スマートフォンの持ち込みは禁止している。

問 町内5保育所、1民間幼稚園の体制は維持するのか。

答 町長 利用者の声を聞き、ニーズを捉えた学童保育施設整備や運営なども可能性として検討していきたい。

答 町長 当面の間は現体制を維持したい。今後、保育所の在り方を検討していく。

問 くるみ保育所の跡地利用で、保護者へのアンケート調査の結果、学童保育施設への要望が高いが整備すべきではないか。



元気に踊る保育所の子供たち



寄定 秀幸 議員

問 産廃などからの煙・悪臭の改善を

答 広島県と連携し継続対応する

町長

問 三和地区、大矢の産廃施設と炭焼き施設からの煙と悪臭は、いまだに改善していない。

神石高原町発定当時から課題でもあり、住民の健康や自然環境への影響が心配される。どのように取り組み、どう改善するのか。

答

町長 産廃施設については、国の法律並びに県条例に基づき、監督権限のある広島県とともに、継続対応している。

また、炭焼き施設については、規制する法令などはないが、住民からの問い合わせなどにより、県と連携し、立ち入り調

査や指導を行っている。

問 煙や悪臭に対し、臭気指数規制を導入しているが、臭気調査の結果、基準値を超えている場合、指導・勧告・命令とより厳正に対応すべきだ。

町長 平成22年10月からの、現在まで月2回の臭気測定を継続している。今後も継続して取り組む。

答

町長 産廃施設から排出される煙と水蒸気、施設周辺の枯れた木々や土壌、河川水の成分調査を実施すべきではないか。

問

町長 煙そのものや土壌についての規制はない。河川水の水質調査は協定に従って、事業者が年間4回調査し報告しているが、基準値以内である。枯れ木については、監督権限のある広島県に状況報告している。

答

町長 「農業用ため池の災害対策への取り組みは、

「特定農業用ため池」の

県と事業者で今後について協議中と伺っている。引き続き、県に対して積極的に要望していく。

問 産廃業者が自ら調査し、基準値以内と報告するが、信ぴょう性が低い。もっと踏み込んだ町独自の調査を実施すべきだ。

町長 町独自での取り組みを検討したい。

答

町長 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が今国会において審議されている。

問

町長 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が今国会において審議されている。

答

町長 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が今国会において審議されている。

町長 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が今国会において審議されている。

防災・減災対策は



煙と水蒸気を排出する産廃施設

ハザードマップなどの作成が義務付けられる予定。現在、「防災重点ため池」の選定作業を行っている。

問 自主防災組織の機能強化とともに「地区

防災計画」策定が必要では

町長 各自主防災組織を中心「地区防災計画」の策定を推奨していきたい。

条例制定・改正

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

条例の制定

全会一致

森林経営管理推進事業基金条例

- ・国からの森林環境譲与税を財源として、森林整備や促進に充てる基金を設置するため

油木スポーツ広場設置及び管理条例

- ・社会体育の推進及び地域文化とコミュニティの進行を図るための設置

条例の一部改正

賛成多数

町民野球場設置及び管理条例

- ・利用料の一部改訂

仙養ヶ原森林公園設置及び管理条例

- ・エアコン取付け棟の利用料の一部改訂

町嘱託員の設置並びに報酬及び費用弁償に関する条例

- ・森林環境譲与税を受け地域林政アドバイザー嘱託員を新たに設置する必要があるため

国民健康保険税条例

- ・広域化に伴う保険税率の改正 金額微増 (他7件)

工事請負契約の締結

全会一致

工事名 町立くるみ保育所建設工事
 請負金額 2億9689万円
 請負者 宮協建設株式会社
 工期 平成31年3月6日～平成32年3月25日

工事名 町立小中学校空調設備設置工事
 請負金額 1億580万円
 請負者 瀬戸電設工業株式会社
 工期 平成31年3月6日～平成31年6月28日

指定管理者の指定

全会一致

新規 油木屋内グラウンド
 油木協働支援センター
 継続 神石老人福祉センター
 町社会福祉協議会 (他継続18件)

人事

全会一致

人権擁護委員

継続 横山 礼子 さん
 継続 東 幸子 さん
 新任 花田 忠行 さん

議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本 議長
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

その他は全員が賛成 議長は採決に加わらない



議案を上程する執行側

井関地区 第2定住促進団地の今



平成29年度に始まった第2定住促進団地構想は、候補地も決まり、現在は地権者の了解も頂き立木の伐採も終了した。

平成31年度はいよいよ基本計画と実施設計を行い、できるだけ早い段階で造成工事に入れるよう計画をしている。計画面積は2第1区画100坪程度の宅地で、予約販売は平成32年12月頃からを予定している。



議会活動報告

議会のスリム化・効率化を目指して

調査内容 議会におけるタブレット導入・活用

日時 平成31年2月4日～5日

場所 愛媛県愛南町議会・愛媛県西予市議会

研修目的

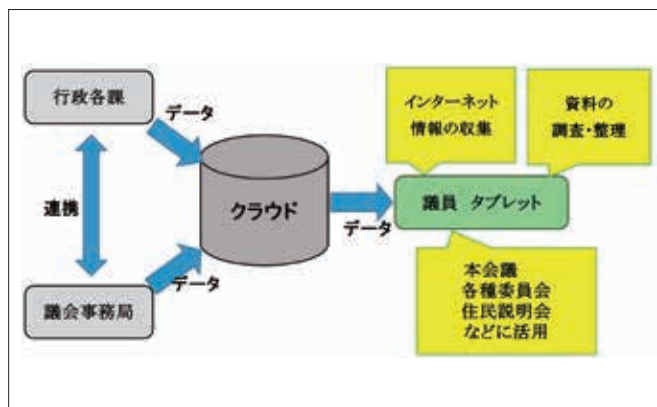
議会の効率化、ペーパーレスのため、タブレット端末の導入・活用状況を調査・研究

報告 タブレット端末導入の効果

議会事務局内のコピー使用量などは、大幅に減少。議案書や計画書は予算書・決算書を除き、すべてPDFファイルで提供され労務費が大幅に削減され、メリットは大きい。

議員・事務局双方のタブレット配信によって、情報格差が解消される。

使用基準等のルール化と議会活動のツールとしての機能を十分活用できるよう、スキルアップが課題である。



議会タブレット イメージ図

結果

タブレット端末導入・活用の効果は大であり、本町議会におけるタブレット導入・活用を早期に検討すべきである。

まちの声

皆さんの要望・ご意見・感想など

●高齢者の自主性や意欲を引き出すための政策を求めたい。
(80代 女性)

ふれあいタフシー事業は、高齢の方々が家の外に出て、活躍していただく目的で推進しています。皆さんが生き生きと活動できる町を推進していきます。 総務課

●議会クイズもう少し難しくてもいいと思います。(60代 女性)

多くの方に参加して頂きたいため、わかりやすくしています。クイズの難易度は今後検討します。 議会

●議会で高齢者のことが取り上げられていなくてちょっと寂しい思いをしました。(90代 女性)

予算や町政の情勢によって主な議論が変わってきますので高齢者の話題が表に出ない時があるので

「ご了承ください。」 議会

●ありのままの議論を… (70代 女性)

わかりやすく透明性のある議会を心掛けています。 議会

●豪雨による災害の早期復旧を全力でお願いする。(70代 男性)

平成31年度予算では基本的な方針として豪雨の復旧を最優先課題としています。 完全復旧には時間を要します。今しばらくのご辛抱をお願いします。 建設課

●子供たちがのびのびとスポーツする場所があればいいと思います。(60代 男性)

スポーツ施設は各地区にそれぞれ整備しています。それぞれの施設でスポーツを楽しんでください。 まちづくり推進課

●病院建設の希望として耳鼻科が新設されると助かります。年寄

りは遠くに通うのが大変です。 (80代 女性)

新病院では現在の7診療科を予定しています。医師不足の中、診療科新設は難しい状況です。 保健課

●当選者数の変更などで当選が多くなり希望を持ってクイズにチャレンジできるようにしてください。よく見てほしい記事を使つてのクイズはベリーグッドです。(60代 女性)

ありがとうございます。今後皆様の意見を聞きながら考えていきたいと思えます。 広報委員会

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございます。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① 維持 ② 豪雨 ③ 料理人

第39回議会クイズ当選者

三和地区 太田 京子さん

おめでとうございます！

議会事務局の体制が変わりました

議会事務局 事務局長

国重 修示



議会事務局 主任(再任用)

吉原 敬之



2人とも初めての職務です。宜しくお願ひします。

議員との対話集会

まちづくりをみんなで考えましょう。

3月議会で議論した主な内容を報告します。

日時と場所

19:00~21:00

5月28日(火)

豊松：陽光の里文化ホール

5月29日(水)

神石：総合交流センターじんせきの里

5月30日(木)

油木：油木コミュニティセンター

5月31日(金)

三和：三和協働支援センター



昨年の議会報告会（三和会場）



受賞誌

「みんなの町議会第54号」が
広島県の第39回議会広報誌コン
クールにおいて最優秀賞、第36
回議会広報写真コンクール特選
となりました。
この受賞を励みにさらに住民
の皆様を読みやすくわかり易い
広報誌を目指します。

表彰

広報誌コンクール4連覇

表彰

自治功労者

久保田龍泉議員が在職27
年以上、木野山孝志議員が
在職14年以上の功績でそれ
ぞれ全国町村議会議長会と
広島県町議会議長会から表
彰されました。



久保田議員



木野山議員

元気なグループ紹介だよ!



油木ズンバサークル

インストラクター 黒川俊宏

ズンバは、音楽を楽しみながら、早いリズムと遅いリズム、インパクトのある動きと緩やかな動きなどが組み合わされたダイナミックでエキサイティングなトレーニングです。ダンスとエアロビクス/フィットネスを組み合わせたものがベースで、レジスタンストレーニングや体



楽しくエクササイズ

幹トレーニングの要素もあり、様々なフィットネスの目的を達成することができま
す。
毎週水曜日、午後7時30分
から、油木コミュニティセン
ターで行っています。参加費
は1回500
円。30代から70
代までの男女が
楽しく汗を流し
ています。どな
たでも楽しく簡
単にエクササイ
ズできる、まさ
に「フィットネ
スパーティー」
です。



発行責任者 議長 松本彰夫
住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 08471891340
FAX 084718514201

第40回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉を
入れてください

- ① 災害復旧を〇〇〇
- ② 子育て世代包括支援センター「〇〇〇〇」の運営
- ③ 議会の〇〇〇〇・効率化を目指して

ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への
要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000
円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025番地
神石高原町議会事務局「第40回議会クイズ係宛」

●締め切り

5月13日(月) 消印有効

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『ま
ちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は **6月**です

編集後記

新元号の発表。密かに少人数で候補を選出。
前は常用でない言葉を電話帳などで調査。
それでも、読み方の違う地名が話題になった。
今回は、発表後に国外での商標登録を発見…。
3月議会の争点は短兵急な提案への同意願
いだった。

よりよい政策のためには、話し合いの時間
がもっと必要では。(小川善久)

表紙の紹介



4月6日に行われた、いずみ保育
所の入所式。よろこびいっぱいの
和田さん一家の笑顔をパシャリ!

議会広報常任委員会

委員長 赤木 俊二
副委員長 横山 素子
委員 木野山孝志
委員 林 憲志
委員 小川 善久